



令和6年
3月



月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■塗りつぶしの日が休館です。

『私の源氏物語ノート』 荻原規子/理論社/913.36 円

原文から全訳を成した荻原規子による「源氏物語」鑑賞エッセイ。1000年を隔て、同じ長編作家・紫式部に向けた視点が「源氏物語」の読書をさらに深める。「源氏物語」全帖のあらすじ付き。現代語訳を手掛けた著者の視点や感じたことなどがまとめられており、物語の世界をさらに理解できる一冊。



『古本大全』

岡崎武志/筑摩書房/024.8 円 文庫

ブックオフやネット販売の登場、中央線新世代古本屋の活躍、突然のコロナ騒動…。古本を愛する著者が、業界の変化と動向のあれこれを綴る。単行本未収録原稿も多数収録した文庫オリジナルの古本エッセイ集。

『いい人すぎるよ図鑑』

明円卓/PHP 研究所/049 ミ

月初にカレンダーをめくってくれる人、もんじゃ焼きを率先して作ってくれる人、電話などにお辞儀をして謝っている人…。日常生活にひそむ「いい人」を発見し、収集した図鑑。2023年開催の展覧会から生まれた本。

『金より価値ある時間の使い方』

アールド・ベネット/KADOKAWA/159 円 文庫

時間をどう使えば限りある人生をよりよく生きられるか。「1晩おきの1時間半がきらめく真珠に」「原因と結果の法則を叩きこめ」など、時代と国境を超え多くの知識人に愛される時間術の名言を新訳で紹介する。

『さらりと生きてみる』

えしゅん/さくら舎/188.4 円

イライラ、不安、嫉妬、後悔…自分を苦しめる「心の毒」を抜きましょう。青年僧が自由にスッキリ生きるための仏教の教えをわかりやすく伝える。動画で発信した内容に加筆修正し、新規原稿を追加。

『世界史と地理は同時に学べ!』

山崎圭一/SB クリエイティブ/209 ヤマ

最強・ローマ帝国を悩ませ続けた唯一の弱点「2つの川のすきま」とは?なぜロシアの周辺ばかり民族問題が多発するのか?世界史と地理が深く関わる事件や事柄を選び、世界史と地理の両方の視点から読み解く。

『なんでファラオは男なの?』

山花京子/新泉社/242 ヤマ 青少年

中1の美羽は、母と共に参加した日本語サークルのボランティアがきっかけで、一人でエジプトに行くことに。古代エジプトで、女性で王様になったハトシェプストの軌跡を辿る旅を通して、女性と社会との関わり方に興味を持ち…。

『社会問題のつくり方』

荻上チキ/翔泳社/309 円

世の中の空気を変えて、社会を動かそう!さまざまな社会理論紹介から、組織づくりや広報活動、ロビイングのやり方まで。個人の「困りごと」を「社会問題」として捉えなおし、世の中を動かすための方法を物語形式で紹介。

『流れが見えてくる地政学図鑑』

神野正史[監修]/ナツメ社/312.9 シン

歴史上のあのできごとはなぜ起こったのか。時代の流れをつかみながら、重要な出来事やその背景をもとに、各国の地政学的な戦略と動きをイラストで解説。地政学の基本概念や用語、地政学的戦略から学ぶべきことなども紹介する。

『はたらく物語』

河野真太郎/笠間書院/366 コウ

フィクションに映し出された、現実で働く私たちの姿とは?マンガ・アニメ・映画などのエンタメ作品を取り上げながら、格差ややりがい搾取、ケア労働、ジェンダーなど、「働くこと」を巡る問題を読み解く。

『ようこそ、数学クラブへ』

キムニョン/晶文社/410 キム

難しくなっていく数学を前に不安そうな2人の生徒アインとジュアン、編集者であるボラムの3人は、数学大好きなキム教授から特別レッスンを受けることに。ストーリーの穴を数えたり、最強の暗号をついたり…。楽しく数学を学べる本。

『鳥はなぜ集まる?』

上田恵介/東京化学同人/488.1 ウエ

群れ、南極で寄り集まるペンギン…。なぜ鳥は群れをつくるのか?厳しい自然界を生き抜くための鳥たちのさまざまな工夫を紹介する。全国群れマップ、野鳥調査ガイド付き。

『本を読むだけで脳は若返る』

川島隆太/PHP 研究所/491.3 カワ

脳が活性化する最良の方法は「読書」「音読」。しかも認知症の改善、創造性の向上など、年齢にかかわらず効果あり!読書が脳に与える驚きのメリットを一挙に解説する。

『まちかどガードパイプ図鑑』

岡元大/創元社/514.2 円

道と車道の境目や交差点のカドに立っているパイプ製の柵「ガードパイプ」。花や動物、曲線、直線など、さまざまなモチーフで人知れず個性を放つ道路の名脇役たちを写真で紹介する。海外のガードパイプも収録。

『シニアごはん』

本多京子/講談社/596 円

料理がしんどいと感じるシニア世代でも無理なくできる、一食一品つくるだけで栄養バランスが整う献立を提案。レシピのほか、買い物術、食の知恵、キッチンアイデアなども指南する。

『ウィキペディアでまちおこし』

伊達深雪/紀伊國屋書店/601.1 円

ある都市のウィキペディア項目に写真や詳細な紹介文を加えたところ、観光収入が増加した。まちの活性化やオープンデータ推進の取り組みとして注目を集める「ウィキペディアタウン」。その魅力と活用の仕方をガイドする。

『ワーキングドッグ』

福澤めぐみ/緑書房/645.6 円

警察犬、動植物検疫探知犬、災害救助犬、身体障害者補助犬…。使役犬(ワーキングドッグ)の役割、育成方法、活躍の現場、引退後の生活など、ワーキングドッグの現状と将来への課題について多面的に解説する。

『X 集客の教科書』

門口拓也/KADOKAWA/675 円

個人も企業も SNS を活用した集客はマストの時代。成功者はどのようにして濃いファンをつくり稼いでいるのか。「5秒でフォローされるプロフィール」など、具体的で実践的なXの運用・集客・稼ぎ方を紹介する。

『文化財の未来図』

村上隆/岩波書店/709.1 ムラ

国宝、重要文化財だけではない、「身近な文化財」こそ重要な意味を持つ。容易に失われるそれらを「ものづくり文化」ともにつないでゆくには?文化財の歴史と現在、未来を、現場に立ち続ける第一人者が熱く語る。

『指先から旅をする』

藤田真央/文藝春秋/762.1 円

20か国・100都市。世界が彼のピアノに恋をした。クラシック・シーンを更新し続ける24歳のピアニストが綴った、2年間の全記録。世界中で撮影された公演&オフショットも満載。『WEB別冊文藝春秋』連載を書籍化。

『図説日本語の歴史』

今野真二/河出書房新社/810.2 円

日本語はどのような姿かたちをして残されてきたか。古事記、古今和歌集、源氏物語、江戸期の辞書、漱石の手書き原稿…。歴史をいさよる貴重な文献の数々から「書きことば・はなしことば」の変遷を読む。

『美しい日本の一文字』

笹原宏之/自由国民社/811.2 ササ

風が止むということを一文字にまとめた「凧」、神の木というところから作られた「榊」…。日本製の漢字である国字の中から、特にさまざまな情報が詰まっている字を選び、その歴史や特質をわかりやすく解説する。

『人生に効く寓話』

池上彰/中央公論新社/909.3 円

「舌切り雀」には商売の厳しさが、「浦島太郎」には定年後が、「花咲かじいじ」には部下の使い方が、「雪女」には夫婦の現実が書いてある!グリム、イソップから日本の民話、寓話まで、全20話の読み解き方を語り合う。

『静かに生きて考える』

森博嗣/ベストセラーズ/914.6 円

何度世の中は騒々しく、人々が浮き足立つ時代になってきた。そんなやかましい時代を、静かに生きるにはどうすればいいのか?人生を幸せに生きるとはどういうことか?作家・森博嗣が自身の日常を観察し、思考したエッセイ。

『ぼくは青くて透明で』

窪美澄/文藝春秋/F 円

ぼくは、血の繋がらない継母と暮らしている。ぼくが高校1年の夏に、引っ越しすることになった。転校先の高校で、ぼくは忍と出会った。そしてその日、ぼくは彼に恋をした。『週刊文春 WOMAN』連載を単行本化。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

図書館ホームページ

